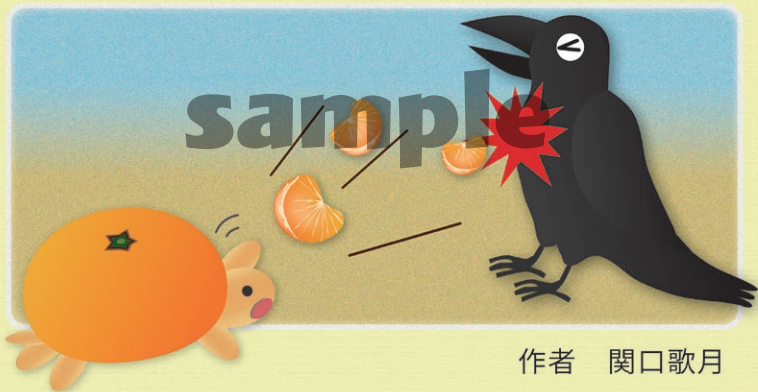


フルーツかめん

～ たんじょうへん ～



作者 関口歌月

フルーツかめん

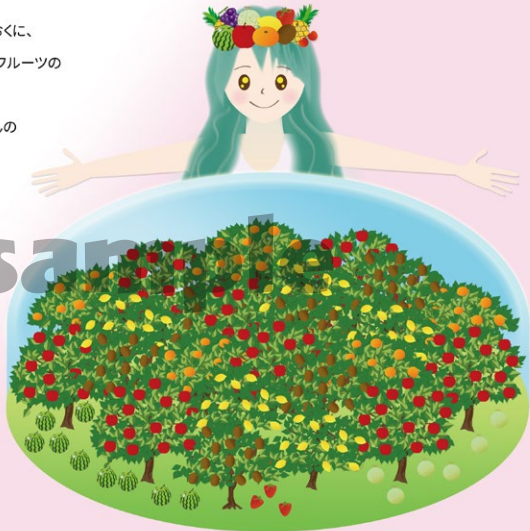
sample
～ 誕生編 ～

作者：せきぐち かづき

あるとき、あるおおきな もりのおくに、
いろいろなフルーツのきがある、フルーツの
もりが ありました。

そのもりは、フルーツの らくえんの
ようなところで、どのフルーツも
みずみずしく、いきいきと
そだっていました。

このもりの フルーツを、
フルーツのもりの
せいれいが、たべものに
こまった、むしや
どうぶつたちに、
びょうどうに わけあたえて
いました。





しかし、このもりが、カラスの ガアガに みつかってから、フルーツを
じぶんの ものだけに しようと、たべあらし、いくつもの
フルーツのきが、かれはじめました。

このままでは、いつかフルーツのもりが なくなってしまうと、フルーツの
もりの せいいいが、なんとか しなればいけないと おもいました。



そこで、フルーツのまりの　せいいいは、　ちからと
ちえを　ふりしぼり、　もりをまもるために、

『フルーツかめん』を　たんじょうさせました。

『ミカンかめん』

『リンゴかめん』

『メロンかめん』

『スイカかめん』

『キウイかめん』

『レモンかめん』

が　たんじょうしました。

sample



フルーツかめんは、のうりよくに ちがいがあり、
つよくないものも います。しかし、それぞれが
きょうりよくしあうと、みごとに てきを
おいはらうことが できるのです。

さらに、せいいいは、フルーツかめん
それぞれに『おまじないのちから』を

さずけました。たたかったときは てきだとしても
はんせいしたものや こまっているどうぶつなどが、
ほんのすこしの ハッピーを もらえたら、
くりかえし おなじことに ならないだろうと
かんがえたのです。

そして、それが、フルーツのもりの
あんたいにも つながるだろうと
おもったのです。

しごとうん
せいせきUP



れんあいうんUP



けんこううんUP



こうつうあんぜんうん
じこほうしうんUP



にんきうん
しゃこうせいUP



きんうん
うえぼうしうんUP
(うえぼうし通)



さて、カラスのガアガは きょうも
フルーツを たべあらしています。
「ガアガアガア、このもりの フルーツは
ホントに うまい! どけどけーい
このもりの フルーツは
おれのものだー!」
たべものに こまって
もりにきていた どうぶつたちを
けちらし、フルーツを
うばっています。

Sample



そこへ ミカンかめんが とうじょうしました。

「こらー！ きみが カラスのガアガですね？！

せいいいさまに おききしたとおり、

たいへんな らんぼうものですね！

このもりの フルーツは

こまっているものたち みんなの

ものなんです！ いますぐ

でていってください！」

「ガアガア、なんだ？ おまえは！

うまそうだな！ なまいきだから

くってやろうか！」

ミカンかめんが ガアガが

おそいかかってきました。



ミカンかめんは ミカンのかたちになり、
ころがって、 ガアガの こうげきを
よけながら、 たいあたりを
くりかえしました。

「ガアガア、 いてて! くそっ
チビっこいくせに いたいじゃないか!
こんにゃろー!」

おこったガアガは クチバシをつきだして
ミカンかめんを むかっていきました。

すると ミカンかめんは クチバシをさけて、
おなかに たいあたりをしました。

そして、 すぐさまあしに
パンチをくりだします。
「いててて!」



ミカンかめんの れんぞくこうげきに
つかれたガアガは ひとまず
たいさんしようしました。

ところが、 なんてことでしょう!!!

ミカンかめんが こいしに
つまずいてしまいました。

「むっ? これはチャンス!」

とガアガが ミカンかめん
はんげきしようしました。

そこに!



ドドーン！

「いて—————！」

いくつもの しょうげきに ガアガは
とばされました。

リンゴかめん・メロンかめん・スイカかめん・
キウイかめん・レモンかめんが
みんなで たいあたりを したのです。



「な、なんだ??」 ガアガは とまどいました。

こいしに つまずいて ころがっていた

ミカンかめんが

「みんなー」といって おきあがり、

「ぼくたちは このもりを まもるために

うまれた!」 というと、 みんなが

こえをそろえて

「フルーツかめん!!」

といいました。

フルーツかめん



??



そして、とまどっている ガアガに
みんなで いっせいに
たいあたりをしました。

「いてててー!」と ガアガは
いたがります。

そこにさらに、ミカンかめんいがいの
フルーツかめんが ガアガのつばさに
かみついて、うごきを ふうしました。
すこしおとなしくなった ガアガに
ミカンかめんは たずねました。

「どうして このもりを
おそいつづけるんですか？

キミは たべものに
こまっているようには
みえません。」



すると、ガアガは
「うるさいうるさい！ オレはどうせ
きらわれものだ！ オレのことを
きらっているやつらが たべものに
こまっていようが どうでもいい！
すべてオレのものに してやるんだ！」
といい
「はなせー」と つばさをバツサバツサと
おもいきり うごかしました。
フルーツかめんは、 ポンポンポンポンと
なげだされてしまい、 じめんや きに
ぶつかってしまいました。
ミカンかめんも ゆだんをしていたため、
けとばされて しまいました。
さあたいへんです！ フルーツかめんが
みんな よわってしまいました。





「ふん！ たいしたことない チビどもめ！ こうなったら、じゅんばんにくってやるー！ まずはさいしょに はむかった おまえからだ！」と
ガアガが ミカンかめん に むかっていきました。
ミカンかめんが ピンチです。



おおきくかめーン!

すると、ほかのみんなが これは ほんとうに きけんだとかんじ、それぞれ よわったからだをおこし、てをうえにかかげました。そして、みんなで「おおきくかめーン!」というミカンかめんめがけて、それぞれじぶんのだねを なげました。



sample

どうじに ミカンかめんも じぶんのたねを うえにほうりなげました。
バクバクゴックン!

その みんなとじぶんの たねをのみこんだ
ミカンかめんが なんと、
ガアガとおなじくらいの おおきさに
おおきくなりました。

フルーツかめんには、 シークレットパワーが
そなわっていたのです。

それは みんなの いっちだんけつした
ころと パワーをこめたたねを
のみこんだときに はつどうするのです。



ドカドカ!ドカ!

二。

っとあたり、

した。

sample



「うー、くっそー。」と よわったガアガに
ミカンかめんは いいました。
「ちゃんと はんせいして、
にととフルーツのもりを おそわないと
やくそくしてください。 そんなことをしても
きみは ハッピーになっていないはずです。」
ミカンかめんは ガアガが らんぼうものに
なったのは、 じぶんのことを
きらわれものだといった ガアガのこぼしに
ヒントがあると おもっていました。
はんせいしたら、 ガアガが すこしでも
ハッピーになれるように キウイかめんに
にんきうんアップの おまじないのちからを
つかってもらおうと よいのではないかと
かんがえていました。





ところがガアガは、
はんせいする ようすもなく、
「ガアガア、 ふん！ このもりのフルーツは
みんなおれがもらう！ でなおしだー！」と
いって、 バサバサッと つばさをうごかし、
あっというまに たかいところまで とんで、
ヨロヨロと さっていつてしまいました。

ガアガが はんせいもしなかったうえ、『おまじないのちから』も つかうことが
できなかったの、また ガアガが おそいにくるに ちがいないと フルーツかめんは
おもいました。しかし、 そのときは こんどこそ ガアガに はんせいしてもらい、
『おまじないのちから』も やくだてて ガアガに ころやさしいカラスに
なってもらいたいと ねがいました。

とはいえ、ひとまず おいはらうことに せいこうし、
フルーツのもりが ひさしぶりに
へいわになりました。

レモンかめんの うえぼうしうんアップの
『おまじないのちから』の おかげもあり、
たべものにこまる どうぶつたちも
へってきました。



しかし、へいわだったのも つかのま、
しばらくたった あるときから、
ガアガではなく
ほかの らんぼうな
むしやどうぶつたちが
もりを おそいにくるよう
になりました。じつは、ガアガが
そそのかしていたのです。

さあたいへんです。
フルーツかめんは、フルーツをうばいにくる
さまざまなものたちと たたかうことになります。
そして はんせいをしてもらい、
すこしのハッピーを
あげることが できるでしょうか？



フルーツかめんが いつもみんなに いている ことがあります。

「ぼくたちには 『おまじないのちから』が あるけれど、 みんなにも おなじような ちからが あるんです！

みんなの やさしいおもいやりのある ことばやこうどうが、 まわりのだれかに すこしのハッピーを あげることが
できるんです。 それによって、 いじわるなものや らんぼうものが へるんですよ。 みんなもだれかに すこしの
ハッピーを あげてみてください！」 と。



フルーツかめんは、 フルーツのもりを まもるために きょうも がんばっています。

いしだえほん No.115

フルーツかめん〜誕生編〜

2019年3月15日 初版発行

作者 関口歌月

印刷・製本・発行 石田製本株式会社

〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31

TEL 011-676-4520

<http://i-bb.co.jp/>

©2019 Kazuki Sekiguchi / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909939-14-2

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>

ISBN978-4-909939-14-2
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円＋税



9784909939142



1928771012000

